

研究実施のお知らせ

研究課題名：高齢者軽症頭部外傷における慢性硬膜下血腫発生率解析

研究期間：仙台市立病院倫理審査委員会承認日～令和4年9月30日

仙台市立病院では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の対象となる方】

2018年1月1日～2021年12月31日に、当院を受診し頭部CT検査を施行された受傷時年齢65歳以上の頭部外傷の方。

【研究の目的と意義】

高齢者では抗血栓薬を内服している場合が少なくありませんが、抗血栓薬は慢性硬膜下血腫のリスクとなりうると報告されており、頭部外傷を受傷した際に抗血栓薬内服を継続するか、中断・中和した方が良いのか、明確に結論付けられていません。本研究では、過去に当院を受診された高齢者頭部外傷の患者様の情報を用いて調査を行い、軽症頭部外傷で抗血栓薬を内服していた場合に抗血栓薬を中断すべきか否かを明らかにし、高齢者頭部外傷の治療に役立てたいと考えています。

【研究の方法】

頭部外傷を受傷された患者様（65歳以上）の受傷直後の頭部CT、受傷1か月後の頭部CT、抗血栓薬内服の有無、血液検査などの情報を収集し、患者様抗血栓薬の内服の有無によって、受傷1か月後の慢性硬膜下血腫の発生率がどのように異なるかを解析します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

診療録に記録された診療情報（年齢・性別・受傷機転・画像診断所見・受傷前抗血栓薬の内服状況、血液凝固指標、血液生化学検査所見）を研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針等により個人情報情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【研究の実施体制】

研究代表者：

仙台市立病院脳神経外科部長 刈部 博

研究協力者：

仙台市立病院脳神経外科医長 成澤あゆみ

【お問い合わせ先】

この研究への情報提供を希望されないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合などは、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

仙台市立病院脳神経外科部長 刈部 博

仙台市太白区あすと長町一丁目1番1号

電話：022-308-7111（代表）